

“元気の源”おもちパワー！「おもち祭り」

10月5日(土)、三重県桑名市にあるアウトレットパーク「ジャズドリーム長島」にて、おもち祭りスペシャルイベントが開催されました。会場となった「ジャズドリーム長島」は、国内最大級の約240店舗が集まる広大なショッピングモール。名古屋を中心に愛知・岐阜・三重の東海3県をはじめ、関西方面からも多くの人々が訪れる人気スポットです。当日朝まで空模様が心配されるなか、全餅工もちつき隊の勇壮なパフォーマンスによって、雨雲も吹き飛び、まさに晴れやかな一日となりました。

「大もちつき大会」でおもちの魅力と伝統を披露！

まずは全国餅工業協同組合を代表して、樋口元剛副理事長が国内産水稻もち米100%で作られる包装餅の素晴らしさをPR。

切り餅をお買い求めの際には、全餅工の赤い八角形のシンボルマークを目印にして頂くことをお伝えして、ステージが幕を開けました。

ステージ上とその前面には、計4台の臼が設置され、勇ましい口上に合わせて全餅工の加盟各社の精鋭たちによる大もちつき大会がスタート。

4台の臼で一斉にお餅が搗かれる様子は圧巻です。

会場に集まったちびっ子たちには、実際にもちつきを体験してもらいました。

杵を振り上げるお子さんの笑顔と、それを写真に撮るパパやママたちの様子は微笑ましいかぎりです。

「楽しかった」「またやりたい」「自分がついたおもちを食べるなんてサイコー！」とご好評を頂きました。惜しくも体験できなかったお子さんたちは、本当にごめんなさい。

そして、お待ちかねの「ふるまい餅」。

つきたてのお餅を手際よくちぎり、あんこときなこの2種類の味付けでご提供しました。滋賀県産の羽二重糯を、“益々繁盛(升升・半升)”の語呂にあわせて二升半用意しましたが、毎回長蛇の列ができ、あっという間になくなるほど大好評です。

「想像以上においしい！」「うちの子がこんなにお餅が好きだとは思わなかった」「今度、朝ごはんやおやつに出してみようと思います！」など、様々な声を頂きました。

「大もちつき大会」は、夕方までに計4回開催され、お餅の美味しさをたくさんの方々に実感して頂きました。



「おもちお手軽クッキング」で、新レパートリーを提案！

大もちつき大会の他にも、ステージでは各種ミニイベントを開催。

「おもちお手軽クッキング」では、ご家庭で手軽に試せる切り餅を使った料理をご紹介します。

1回目は、小倉バターもち。

アツアツのお餅に、相性抜群の小倉バターをトッピング。

2回目は、餅のみそ田楽。

名古屋名物の赤味噌がお餅の香ばしさとベストマッチ。

「朝食のトーストの代わりにいいかも・・・」「今度、お酒のつまみにしてみます」など、様々な感想を頂きました。

詳しくはレシピをぜひご覧下さい。

「おもち〇×クイズ大会」では、来場者に参加して頂き、お餅に関する雑学クイズを実施。

意外な難問に多くの方が引っかかってしまい、ジャンケンでの決着となりました。

みごと優勝したのは、愛知県からお越しの伊藤星来さん。

優勝賞品はなんと、切り餅1年分！2～10位の方には切り餅60個（20袋）をプレゼントさせて頂きました。

その他にも、各種催しで一日中お餅三昧！

また、会場内ではお餅の素晴らしさやスポーツとの関係を伝えるパネルを展示。

さらに、そのパネルから答えを見つけ出す「パネルクイズ」を実施して、回答後には「大抽選会」にチャレンジするシステムを導入しました。

ショッピングに訪れた多くの家族連れやカップルが、足を止めてパネルクイズと抽選会にチャレンジ！

1等賞はお餅1年分（2名）、2等賞はお餅半年分（6名）など、豪華賞品をご用意し、「10月10日はおもちの日」の認知拡大、切り餅の消費促進PRを行いました。

そして、抽選会場からイベントステージへと続くアプローチには、佐渡トライアスロンでも活躍した、「おもち大明神」が鎮座。

愛くるしい表情が子どもたちだけでなく大人にも好評で、おみくじを引いたり、記念撮影をする姿が見受けられました。

